

## 遊具付公園について／伊禮敬子

『遊具付公園について』伺います。9月、12月と定例会において質疑させていただいたところですが、11日の予算審議において新年度予算に計画の一部が計上されており、国吉課長からも説明がありました。前任の上原議員はじめ上地議員と、職員、関係者の皆さまが取り組まれて、その協力のおかげで4年目にしていよいよこの事業がスタートするわけです。感謝と同時に関係者の喜ぶ姿も浮かびますけれども、厳しい財政運営の中で取り組まれたこと、村長はじめ職員の皆さんには改めて敬意を払いたいと思います。本村の厳しい現状の中でも、新たな村民の地域コミュニティ、夢のある広場を誕生させる上でも、その計画の全容を改めて伺います。

■議長（金城信光） 答弁。

■国吉善希建設課長 伊禮議員のご質問にお答えします。全国的に少子高齢化、核家族化、地域における人間関係性の希薄の進展により子育てを巡る環境は大きく変容しております。本村においても、離島という厳しい条件下で、世帯構成の変化や価値観の多様化により子育て環境は変化してきていることから、幅広い年齢層が集まり、遊具や健康器具を整備した場所を提供することで、子育てする親子同士、子どもから高齢者までの世代間交流を促し、地域ぐるみで子育て環境の充実化を図る必要があると考えております。

今回の計画においては、村内の公園において子どもから大人までを対象とした遊具及び健康器具を整備することで、子どもたちの運動機能の向上や心身の健全化を図るとともに、子育て親子同士や世代間の交流を促進することを目的とし、登る、滑る、回る、飛ぶなどが行えるコンビネーション遊具、車イスやベビーカーでも利用できる遊具、バランス歩行やストレッチ等の健康器具を整備し、子どもから大人までを対象とした遊具及び健康器具を織り交ぜた整備計画を予定しております。

現在、予算審議特別委員会でもありましたように、事業化の目途が立ち、令和8年度の当初年度は実施設計において聞き取りやワーキンググループを行い、令和9年度より工事へ着手し、令和12年度の供用開始を満たす計画となっております。12月の定例会でも申し上げたとおり、限りある財源の中で、安全面に配慮したより良いものが整備できるよう実施してまいります。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 重なるところがあるんですけども、公園の周辺にはこれから保育所の移転も予定されていますね。それから高齢者生活支援ハウス『とらず園』があります。ハピママと子どもの居場所があります。あらゆる側面からアクセスしやすい、皆さんがアクセスしやすいコミュニティ広場、ユニバーサルデザインの観点からも造っていただきたいと思います。

あと、念頭平松のライトアップの話がありましたね。誰もが、見たこ

とのない念頭平松のライトアップを見たいと思います。虎頭岩はどうでしょうか。ライトアップされた虎頭岩、想像するだけでワクワクしませんか。

■議長（金城信光） 伊禮議員、制限時間を超えています。

■3番 伊禮敬子議員 これも関連すると思われたので、あえて質問させていただきました。「近代的な遊具付公園では景観を損ねるのではないか」という声もあったんです。こういった声もあって、今の自然景観を損なわずに、最大限に生かしつつ、ちょっと違うかもしれないんですけど、冬場の観光、そういったものにもつなげていけるような、そういった観光部署との連携も図りながら今後取り組んでいただければと思います。

皆さん自身がこの公園を楽しめる、ワクワクするような事業展開、前政権では地方創生に「ワクワクするような事業計画には、お金を落とすていく」というお話があったんですね。児童公園かもしれませんが、観光にも広くつなげていけるような展開を、ワクワクするような事業にして、ぜひ取り組んでいただきたいと思いますが、村長、いかがでしょうか。

■議長（金城信光） 真栄田孝村長。

■真栄田孝村長 担当課からもありましたように、「どうですか」という絵を見せられました。私は担当課に「私ではなくて、使っていく方々の意見を聞いてほしい」という指示をしました。行政側が造りやすいよう

な、事業がしやすいような、今までの、今までと言ったらあれなんです  
が、そういうのはもう無しにして、聞き取りしながら、使う人が本当に  
使いやすい設計をする。今言ったように観光にも絡めていけるのであれば、  
それはそれで全然設計に盛り込んでいけると思います。本当に、良  
い公園を造っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

さっきチラッと聞いた、ライトアップ等々に関しても、そういう意見  
はとても大事だと思います。ただ、やはり良いんじゃないかというのも  
ありなんです、「こういうふうにやりたい」という企画を持ってきてほ  
しい。観光交通課でもイベント等の企画をしています。行政だけに投げ  
るのではなくて、民間からもこういう企画をやりたい、やったほうがい  
いんじゃないかという企画を持ってきてもらったら、これからの伊平屋  
島はとても良くなっていくと思いますので、ぜひとも皆さん、一步踏み  
込んだ行政、また議会と行政の関係を作っていきましょう。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 村長、力強い決意、ありがとうございます。こ  
れで私の質疑を終わらせていただきます。ありがとうございました。

■議長（金城信光） これで第2通告者、3番 伊禮敬子議員の質問を  
終わります。